



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 東亜合成株式会社

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 太

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 芹田 泰三

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	35,247	△4.0	3,541	5.4	3,756	9.2	2,473	12.4
24年12月期第1四半期	36,729	△4.9	3,358	△38.6	3,441	△38.0	2,199	△34.1

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 4,993百万円 (35.6%) 24年12月期第1四半期 3,681百万円 (△3.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第1四半期	9.38	—
24年12月期第1四半期	8.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	179,215	139,741	75.7
24年12月期	181,451	136,240	72.8

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 135,630百万円 24年12月期 132,074百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	73,000	0.2	6,700	△2.4	7,100	0.7	4,300	△12.2	16.31
通期	150,000	1.2	15,000	2.9	15,600	2.3	10,000	3.1	37.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 鶴見曹達株式会社  
 詳細は、(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	263,992,598 株	24年12月期	263,992,598 株
25年12月期1Q	381,107 株	24年12月期	368,033 株
25年12月期1Q	263,618,226 株	24年12月期1Q	263,671,726 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### (ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）における当社グループの業績は、売上高は352億4千7百万円（前年同期比4.0%減収）、営業利益は35億4千1百万円（前年同期比5.4%増益）、経常利益は37億5千6百万円（前年同期比9.2%増益）、四半期純利益は24億7千3百万円（前年同期比12.4%増益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ①基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。無機高純度品は、輸出を中心に一部需要が回復し、堅調に推移しました。硫酸は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。工業用ガスは、全般的に需要の回復が弱く、前年同期並みで推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は111億4千1百万円（前年同期比3.8%減収）となりました。また、営業利益は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少したことにより、9億8千8百万円（前年同期比7.7%減益）となりました。

##### ②アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、国内向け販売数量が増加したものの、海外向けは減少し、前年同期並みで推移しました。アクリル系ポリマーは、全般的に底堅い需要に支えられ、堅調に推移しました。高分子凝集剤は、官需を中心とした販売価格の下落傾向が続くとともに民需も低迷し、低調に推移しました。光硬化型樹脂「アロニックス」は、全般的な需要の低迷を受けて汎用品の販売数量が減少し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は132億1千7百万円（前年同期比4.0%減収）となりました。また、営業利益は、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマーの国内向け需要が堅調に推移したことに加え、原料価格の上昇に応じた製品価格の是正に努めたことにより15億5千万円（前年同期比14.0%増益）となりました。

##### ③機能製品事業

接着剤は、一般用の需要が底堅く推移するとともに、工業用も携帯端末向けを中心とした需要に支えられ、前年同期並みで推移しました。建築・土木製品は、建築補修材、地盤改良剤ともに前年同期並みで推移しました。無機機能材料は、銀系無機抗菌剤ノバロンの販売数量が増加し、堅調に推移しました。エレクトロニクス材料は、全般的に販売数量が低迷し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は37億4千4百万円（前年同期比5.7%減収）となりました。また、営業利益は、一般用接着剤の国内向け新製品を対象としたプロモーション費用が一時的に発生したこともあり、5億3千1百万円（前年同期比26.0%減益）となりました。

#### ④樹脂加工製品事業

管工機材製品は、需要は回復基調にあるものの販売価格が低迷し、低調に推移しました。ライフサポート製品は、競争の激化による影響を受け全般的に販売数量が減少し、低調に推移しました。エラストマーコンパウンドは、食品向けを中心に販売数量が増加し、堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は63億1千5百万円（前年同期比3.8%減収）となりました。また、営業利益は、固定費が減少したことに加え、工場の稼働が上昇したことにより3億8千4百万円（前年同期比93.8%増益）となりました。

#### ⑤その他の事業

新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は8億2千8百万円（前年同期比2.0%減収）、営業利益は6千8百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、株式市況の回復により「投資有価証券」などが増加しましたものの、「受取手形及び売掛金」や「有価証券」などが減少しましたため、前連結会計年度末に比べ22億3千6百万円、1.2%減少し、1,792億1千5百万円となりました。

負債合計は、法人税等の納付により「未払法人税等」などが減少しましたため、前連結会計年度末に比べ57億3千7百万円、12.7%減少し、394億7千3百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上および株式市況の回復により「その他有価証券評価差額金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ35億円、2.6%増加し、1,397億4千1百万円となり、自己資本比率は75.7%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、日銀の金融緩和と円安、株高の進行による景況感の改善が見られる一方で、輸入資源価格の高騰を通じた原燃料価格の上昇が懸念されます。当社グループとしましては、原燃料価格の上昇に対応した製品価格の是正を速やかに進めるとともに、引き続き高付加価値製品の拡販、新規市場開拓に努め、収益を確保してまいります。

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年2月7日に公表した予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、連結子会社でありました鶴見曹達株式会社及び日本純薬株式会社を平成25年1月1日付で吸収合併いたしました。なお、鶴見曹達株式会社は前連結会計年度において特定子会社に該当していません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,096	18,194
受取手形及び売掛金	43,434	41,511
有価証券	14,000	10,500
たな卸資産	15,989	17,130
未収還付法人税等	330	358
その他	2,491	2,132
貸倒引当金	△57	△72
流動資産合計	93,284	89,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,096	20,032
機械装置及び運搬具（純額）	18,471	17,638
土地	17,299	17,301
その他（純額）	10,198	10,823
有形固定資産合計	66,065	65,796
無形固定資産		
のれん	38	36
その他	863	821
無形固定資産合計	902	857
投資その他の資産		
投資有価証券	14,316	16,923
その他	6,952	5,952
貸倒引当金	△70	△69
投資その他の資産合計	21,198	22,805
固定資産合計	88,166	89,459
資産合計	181,451	179,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,878	15,162
短期借入金	6,234	3,236
未払法人税等	4,064	1,066
引当金	23	614
その他	8,588	7,964
流動負債合計	33,789	28,044
固定負債		
長期借入金	5,986	6,246
退職給付引当金	454	345
役員退職慰労引当金	29	20
その他	4,950	4,817
固定負債合計	11,421	11,429
負債合計	45,211	39,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,796	16,796
利益剰余金	93,821	94,976
自己株式	△120	△125
株主資本合計	131,384	132,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,412	3,154
為替換算調整勘定	△722	△58
その他の包括利益累計額合計	689	3,096
少数株主持分	4,166	4,110
純資産合計	136,240	139,741
負債純資産合計	181,451	179,215



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	36,729	35,247
売上原価	27,020	25,695
売上総利益	9,709	9,551
販売費及び一般管理費	6,350	6,010
営業利益	3,358	3,541
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	33	26
持分法による投資利益	100	77
為替差益	58	76
その他	74	161
営業外収益合計	278	350
営業外費用		
支払利息	42	35
環境整備費	39	21
遊休設備費	30	31
その他	83	48
営業外費用合計	195	135
経常利益	3,441	3,756
特別利益		
補助金収入	252	216
特別利益合計	252	216
特別損失		
固定資産処分損	12	25
特別損失合計	12	25
税金等調整前四半期純利益	3,681	3,947
法人税等	1,364	1,414
少数株主損益調整前四半期純利益	2,316	2,532
少数株主利益	116	59
四半期純利益	2,199	2,473

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,316	2,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	870	1,743
為替換算調整勘定	494	716
その他の包括利益合計	1,364	2,460
四半期包括利益	3,681	4,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,520	4,879
少数株主に係る四半期包括利益	160	113

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,581	13,768	3,971	6,562	35,884	845	36,729	—	36,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	8	104	7	143	1,889	2,032	△2,032	—
計	11,603	13,777	4,076	6,570	36,027	2,735	38,762	△2,032	36,729
セグメント利益または セグメント損失(△)	1,070	1,360	718	198	3,348	△23	3,325	33	3,358

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. (有形固定資産の減価償却の方法の変更)

従来定率法を採用していた子会社6社の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法を定額法に変更いたしました。この結果、従来の方法に比べ、第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、「基礎化学品事業」が82百万円、「アクリル製品事業」が12百万円、「機能製品事業」が1百万円、「その他」で0百万円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,141	13,217	3,744	6,315	34,418	828	35,247	—	35,247
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	35	126	1	166	1,859	2,025	△ 2,025	—
計	11,144	13,253	3,871	6,316	34,585	2,687	37,273	△ 2,025	35,247
セグメント利益または セグメント損失(△)	988	1,550	531	384	3,454	68	3,523	17	3,541

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。